

田園空間の整備により、都市や農村住民のニーズに応じた優良な田園住宅を供給しています。

全国で田園住宅用地188haを整備しました(1戸当たり敷地面積は都市部の約6倍の広さ)。その結果若い人たちも多く転入し(平均年齢42歳)また半数以上は他の町村からの転入者で占められています。福井県上中町のほ場整備220haのうち約4haが住宅用に造成されました。新たな住宅への転入者の77%が上中町以外からの転入者で占められ、また78%が30代~40代で、若い世代の流入を促しています。

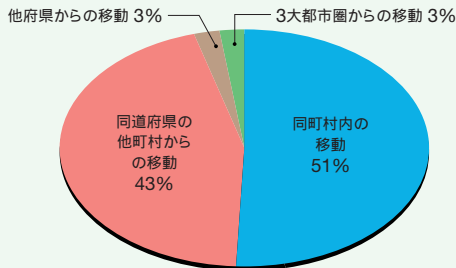
供給住居の内容

1戸当たり面積 (都市の平均)	466m ² (78m ²)
一戸建て	99%
集合住宅	1%

平成13年度までに着工された住環境整備事業地区(全108地区)

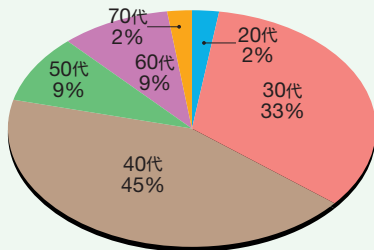


転入者の前住居

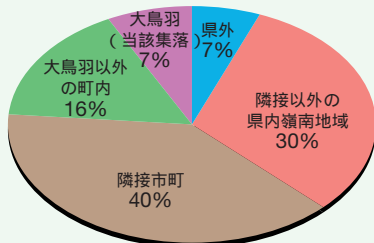


福井県上中町の状況

転入者(戸主)の年齢



転入者の前居住地



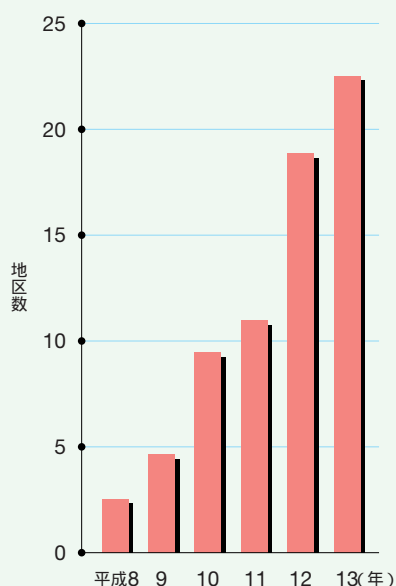
8 高齢者福祉・保健施設用地の供給

農村整備では、高齢者福祉に配慮した施設の整備も行っています。

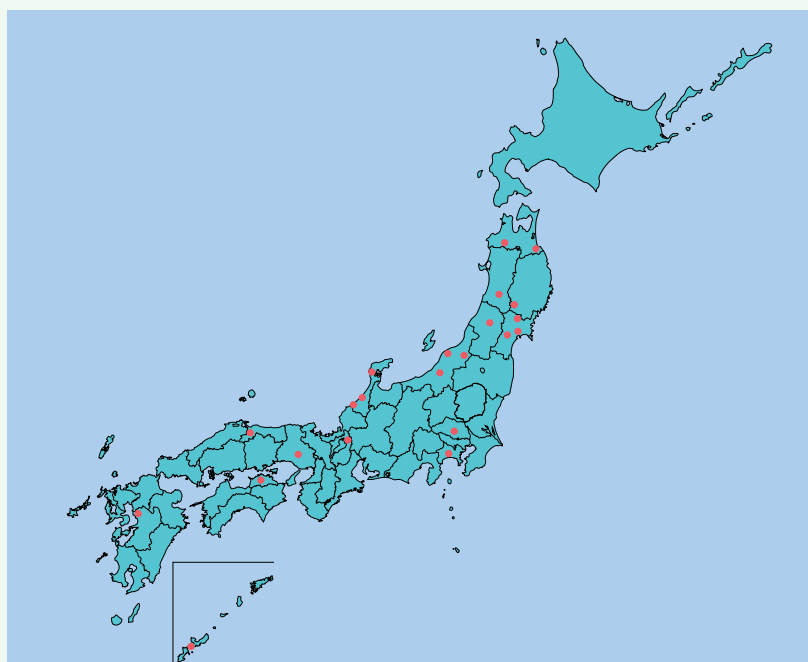
高齢者福祉施設用地の供給やバリアフリー集落道などの様々な施設の整備を行い(全国で23地区) 地域に優しい農村づくりを行っています。

宮城県色麻町で建設された高齢者デイサービスセンター、保健福祉センター、児童センターは毎月平均1,600人に利用され、町の福祉センターとして位置付けられています。

高齢者福祉関連整備地区数累積値



平成13年度までに着工された高齢者福祉型農村整備地区



高齢者福祉型整備の内容

整備内容	延べ整備量
バリアフリーの集落道	24km
生き甲斐農園	13ha
公共施設のバリアフリー化	15か所
福祉施設用地整備	3.1ha

宮城県色麻地区
福祉施設利用状況

施設名	1か月当たり延べ利用人数	対象者
高齢者デイサービスセンター	335	全対象老人の141.4%
保健福祉センター	640	全町民の7.8%
児童センター	628	町内の全児童数の55.1%



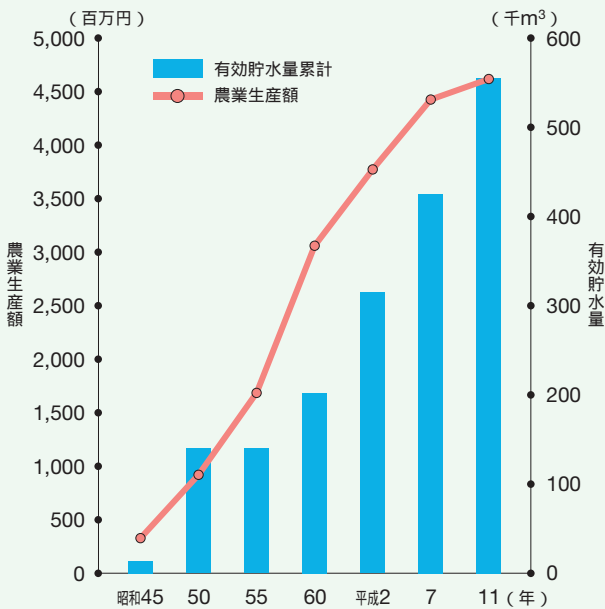
高齢者に配慮した「ゆったり歩道(バリアフリー)」

10 安定した住環境づくり(離島の振興)

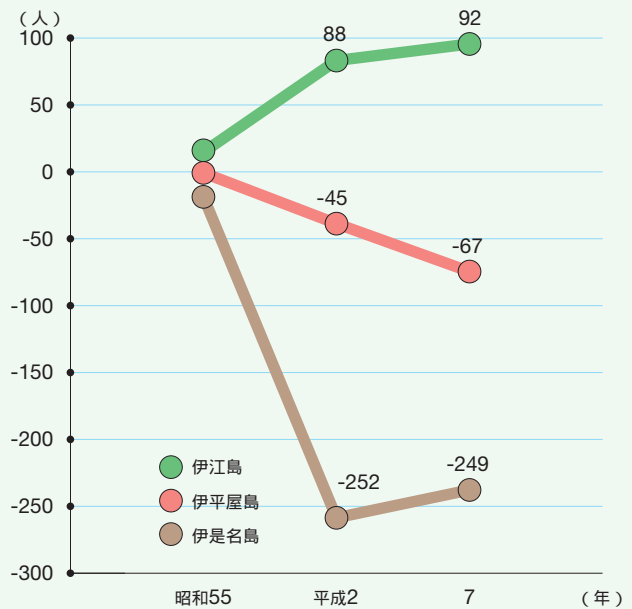
水源の乏しい離島では、ため池の整備により農業用水を確保し、農業経営の安定化により、より住みやすい島をつくっています。

沖縄県伊江島では、農業用のため池(40か所)を整備し、農業用水約56万m³を確保したことにより、農業生産額が年々増加し、平成11年は約46億円で昭和55年の2.7倍に達しています。近隣離島の人口が減少している中で、安定的な農業経営がなされている伊江島では人口が昭和55年に比べ1.8%増加しました。

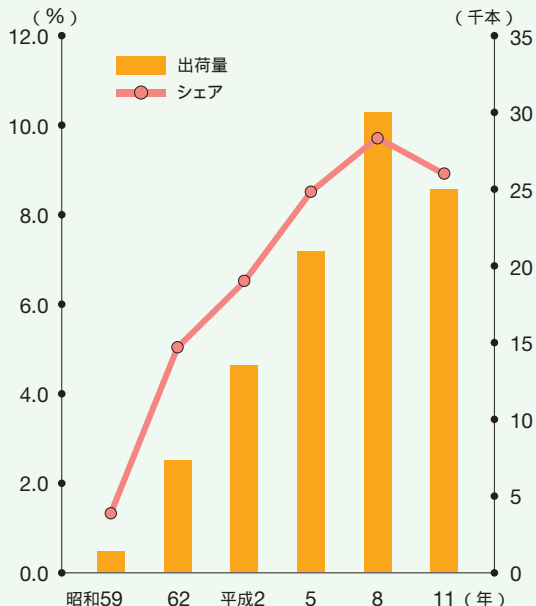
伊江島におけるため池の貯水量と農業生産額の推移



昭和55年からの伊江島と近隣離島における人口の増減



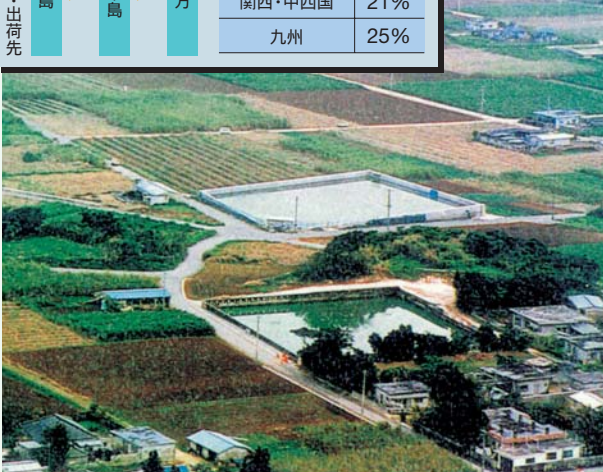
伊江島の「きく」の出荷量と沖縄県内シェアの変化



出荷ルート・出荷先

- 伊江島
- フェリー
- 沖縄本島
- 航空機
- 各地方

北海道・東北	33%
関東	21%
関西・中四国	21%
九州	25%



ナガラため池(団体普かんがい排水事業 着工：平成3年、竣工：平成7年)

地域を造る